

森プロ集団 ごとむしプロジェクト事業

取組に至る背景・事業の目的

南木曾町内における木材木工業は、安価な海外製品の流入と長引く不況により深刻な経営状況が続いている。販路拡大のために東京などで行われる物産展へ参加しても、経費が大きくかかるため効果が見られない状況である。このような状況を打開するために、幅広い地域から年間約 60 万人の観光客が訪れる「妻籠宿」の条件を生かし、町内で生産・製作されている木工製品の実演・展示・販売する場所を設置し、南木曾町の良質な木工ブランドの情報発信に取組んだ。

事業内容

地域の過疎化に伴い、妻籠宿の中で空き家となっている家屋を関係者が連携して改装を行い、町内の良質な木工製品等の実演・展示・販売を行う場として、新店舗「さしものや」を開店させた。

- 改装工事 (改装、建具、塗装)
- 電気工事
- 水洗化工事
- 展示棚作成



【改装後の店内】

事業効果

- 南木曾町の木工製品の知名度、ブランドイメージの向上につながる基盤が整った。今後は、この場を最大限に活用し良質な木工ブランドを積極的に発信できる。
- 製品販売の活性化による後継者育成と伝統技術の継承が期待できる。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 展示販売所となる施設は重要伝統的建造物群保存地区である妻籠宿内に位置しているため、建物の改装にあたっては教育委員会と協議を行い、町並み景観に配慮して実施した。
- 良質な木製品をアピールするため、組子細工や飾り棚で店内を装飾すると共に看板用の板、彫刻用の柱など木そのものを展示した。また、入口付近に製作実演スペースを設けるなど、製品の見せ方を工夫した。
- 多くの観光客が訪れる「妻籠宿」という立地条件の良さを活用し、国内外の人たちに喜んでいただける木製品の製作・発信に取り組んでいきたい。

【選定のポイント】

販売所は、古民家を木曾路の雰囲気を残し改装した造りでイメージアップにつながるのと同時に、情報発信の基盤が整ったことで積極的に情報の発信ができるため、木曾の木工製品のブランドイメージが高まるものと期待できる。

| | |
|--|--|
| 団体名 なぎそ地域物産振興組合 (南木曾町) 連絡先 電話 0264-57-2300 (楯 高男) | 事業タイプ ハード事業 事業費 4,354,515円 支援金額 2,840,000円 |
|--|--|